

## 中学生がJAグリーンかながわで職場体験 ～神田中学校から3名受入～

JA全農かながわの生産資材店舗「JAグリーンかながわ」は、10月22～23日、地元の平塚市立神田中学校が総合授業の一環として行う職場体験学習に協力し、2年生3名を受け入れた。職場体験学習はキャリア教育の一環で、働く事への関心を高め、職業観や勤労観を育み、進路選択に役立てるほか、地域で働く人との交流を通して地元愛を育てようというもの。地元の自動車メーカーや飲食店チェーン、幼稚園など、様々な職種で職場体験を受け入れており、その中から生徒は体験してみたい職場を選ぶ。

JAグリーンかながわの福本寛店長は『『元気な挨拶』『ほうれんそう＝報告・連絡・相談』は社会人の基本。この2つを意識し、限られた時間



有効期限を確認しながら商品の補充をする、樽木さん

間で多くを吸収してもらえれば」と期待を込めた。同校2年生の荒井皓匡さん、本間世夏さん、樽木雅人さんは、店舗スタッフの丁寧な指導を受けながら、掃除などの開店準備、食品の消費・賞味期限の点検、直売野菜等のラベル表示の照合確認、在庫管理と品出し、仕入れ商品の受入と伝票チェック、値札付け、レジでの接客など、様々な店舗業務を体験した。

本間さんは、「家族が菜園や花壇の世話が好きなので、農業に関連のある店舗に興味を持った。意外と立ち仕事が多く、帰宅後は足が疲れていた。お客さんの車まで商品を運んだとき緊張したが、お礼を言われたのが嬉しかった」と振り返った。また、荒井さんは「農業関連以外にも食品など様々な商品があり、

全て賞味期限の確認をする



お客様が買いやすいように商品を陳列する、本間さん



レジ精算業務を体験する、荒井さん